



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 情報・宣伝部
2022年11月6日 No.539

2022年度 年末手当に対する

Part 5

労働組合に加入していないJR東日本社員の声！

- ★今、ありとあらゆる生活必需品などが値上げしている中で給料だけが上がらないのはおかしいですし、実質給料が下がっているのと同じだと思います。(信越)
- ★贅沢とかではなく、普通の生活をするために3.7ヶ月が必要です、要求には賛成です。みんなで闘いをつくりあげて行きましょう。(信越)
- ★出たら良いなと思ったのは2.8くらいでした。でも、要求額を聞いて、それくらい強気でも良いのかと感じた。ライフサイクルで駅にいる時に社会人採用の人達が「JRは恵まれてる。この水準で文句なんか言えない」とずっと言っていたのを思い出しました。最近、低いことに慣れて感覚がマヒしていた「6ヶ月以上の水準」コロナ前に戻そうと言う主張は納得出来ます。(関東)
- ★現実的には、2.5~3.0ヶ月という支給になると思っている。しかし、昨年係数が削減されたので、少し高めの要求という感じはあるが、要求は納得出来る。しっかり要求するのは大事なことだと思う。(信越)
- ★2018年の業績数字を出し比べるのはおかしい。昨年は定期昇給も2係数だったし、まだ基本給も低く一人暮らしでボーナスは多くもらわないとくるしい。ボーナスも下がり働く量は増えて大変です。ぜひ頑張って勝ちとってもらいたい。(関東)
- ★高い要求だが、主張しないと出ない。気持ち的には4ヶ月がほしい。低いとモチベーションがあがらない。「黒字になった」「コロナ前の水準」は同意するが、正直、会社負債もある、それをどうするのかな？と考えてしまう。でも自分は働く側だから、この間の対価としてボーナスはちゃんと欲しい。(関東)
- ★コロナ感染の不安や家計が苦しい、今の時期に会社の施策で転勤、転居をしなくていけない。お金だけでなく手間もかかり大変です。交渉がんばってください。(信越)
- ★施策を進めているが、そこに使っている金を社員に出すことはできないのか！(信越)
- ★各組合が統一して同じ要求を出したら、いいと思います。(東北)
- ★いろいろな物が値上がりし、貯金が目減りしている。エルダー社員は寒冷地手当もない。そのため年末手当は暖房費に充てている。エルダー最後の年末手当は満額支給してほしい。(信越)
- ★これだけ様々な物価が上昇しているからボーナスは多く欲しい。生活を切り詰めている。外食も控えるなど我慢をしている。業務では求められることばかりが増えモチベーションも維持できない。一方で、他企業に勤める仲間にはボーナスが低くて、自分のボーナスの話はできない。(信越)